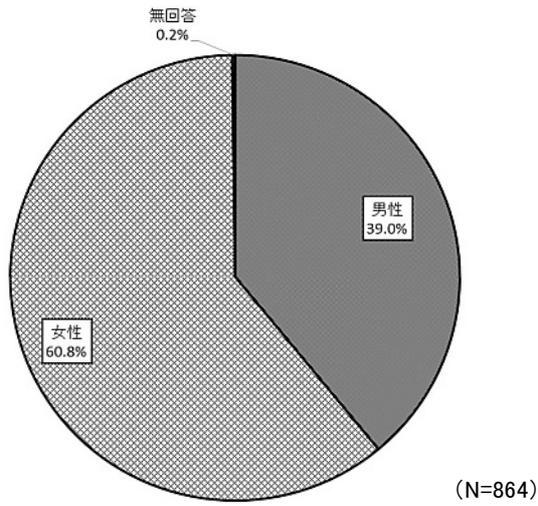


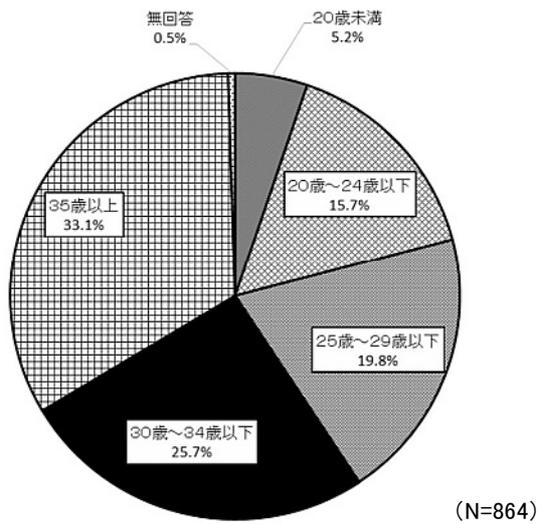
〔18歳以上40歳未満の男女〕

1. 回答者の属性

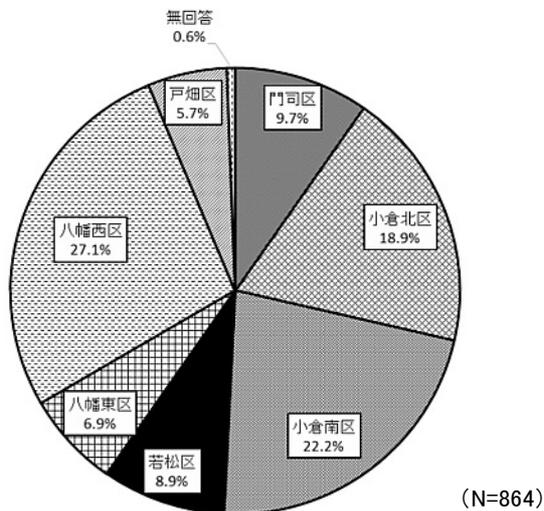
(1) 性別 (問 1)



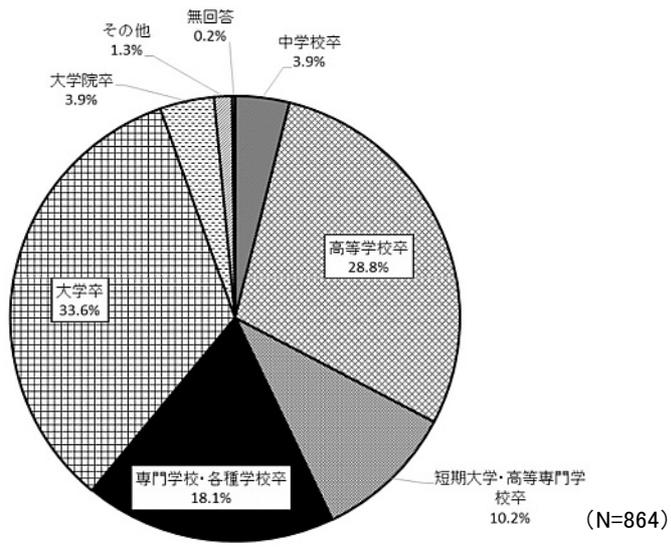
(2) 年齢 (問 2)



(3) 居住区 (問 3)



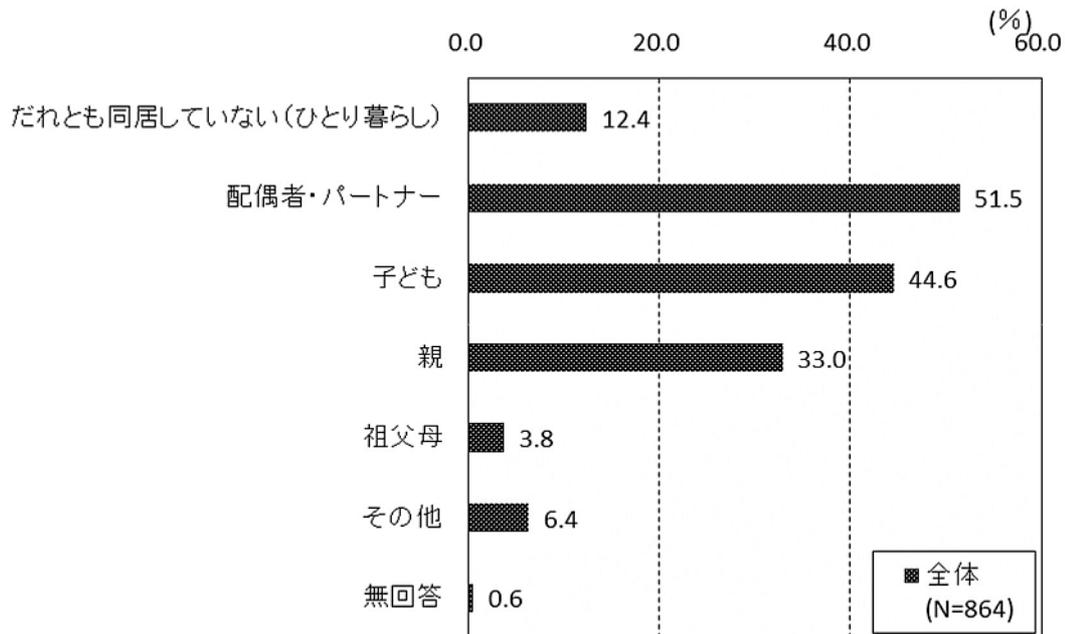
(4) 最終学歴 (問4)



2. 回答者の生活状況

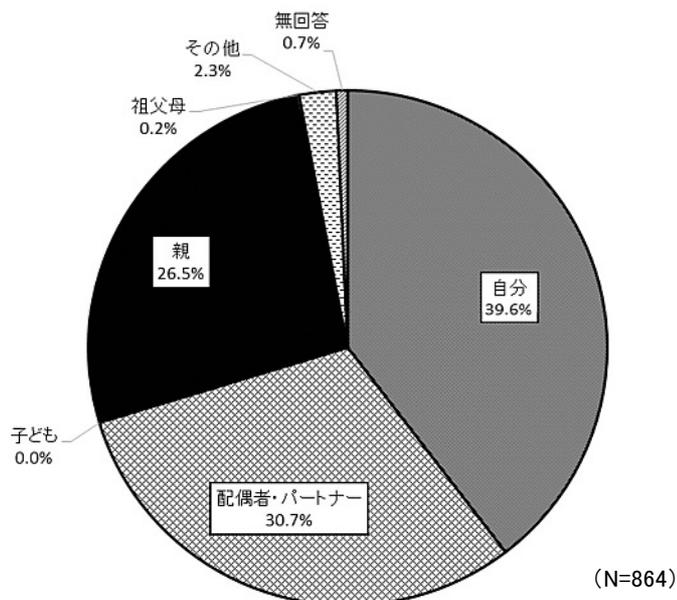
(5) 同居の状況 (問5) 【複数回答】

同居の状況は、「配偶者・パートナー」が51.5%で最も高く、次いで「子ども」44.6%、「親」33.0%となっている。



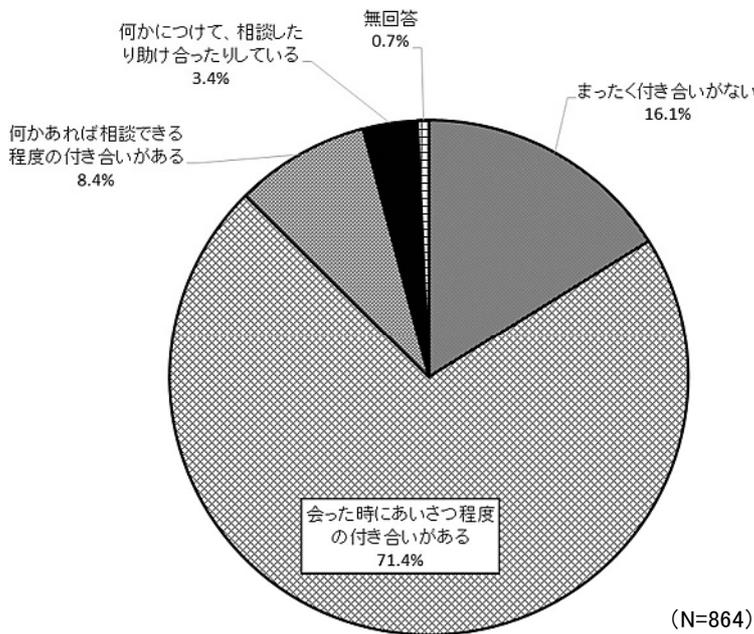
(6) 生活費の担い手 (問6)

生活費の担い手は、「自分」が39.6%で最も高く、次いで「配偶者・パートナー」30.7%、「親」26.5%となっている。



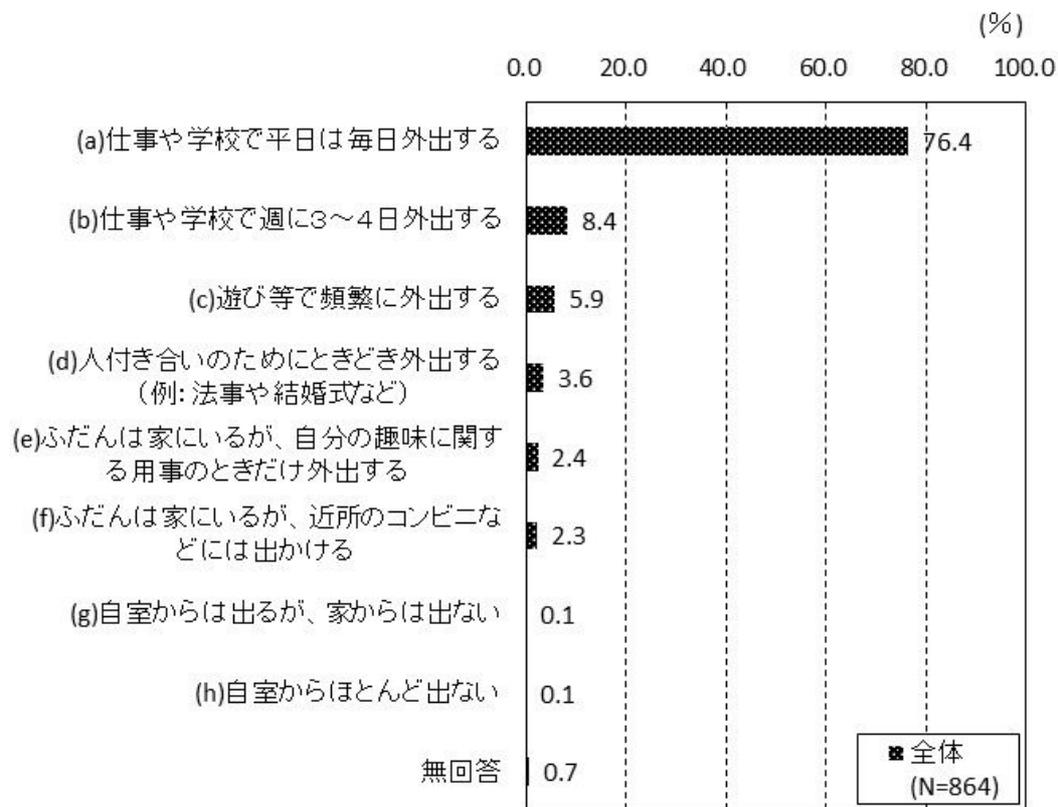
(7) 近所づきあいの状況 (問7)

近所づきあいの状況は、「会った時にあいさつ程度の付き合いがある」が71.4%で最も高く、次いで「まったく付き合いがない」16.1%、「何かあれば相談できる程度の付き合いがある」8.4%となっている



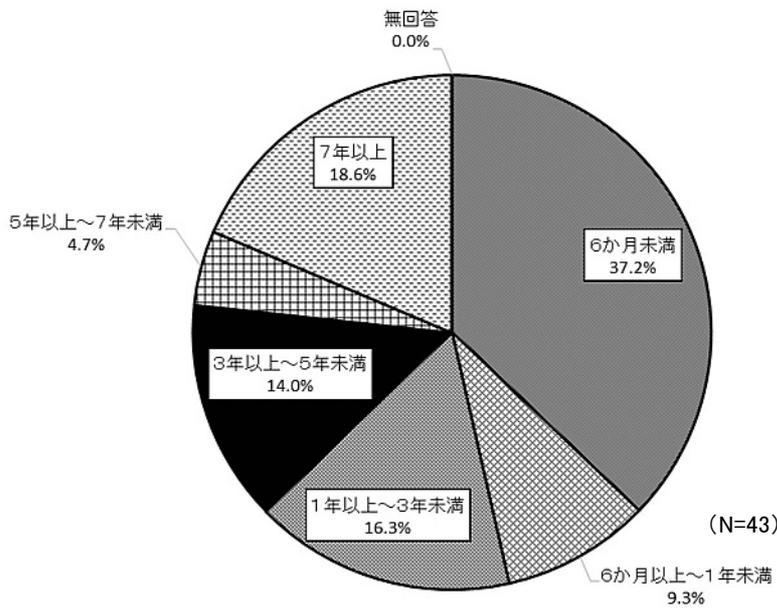
(8) 外出の頻度 (問8)

外出の頻度は、「仕事や学校で平日は毎日外出する」が76.4%で最も高く、次いで「仕事や学校で週に3~4日外出する」8.4%、「遊び等で頻繁に外出する」5.9%となっている。



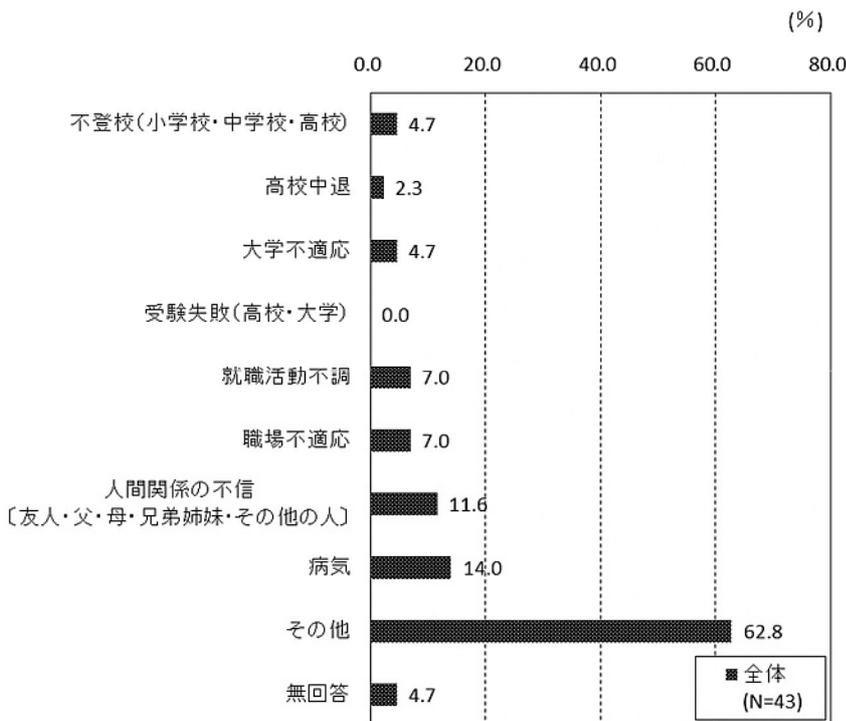
(9) 外出の頻度が減ってからの期間 (問 8-1)

(8)で(e)(f)(g)(h)と回答した人に、外出の頻度が減ってからの期間を尋ねたところ、「6ヶ月未満」が37.2%で最も高く、次いで「7年以上」18.6%、「1年以上～3年未満」16.3%となっている。



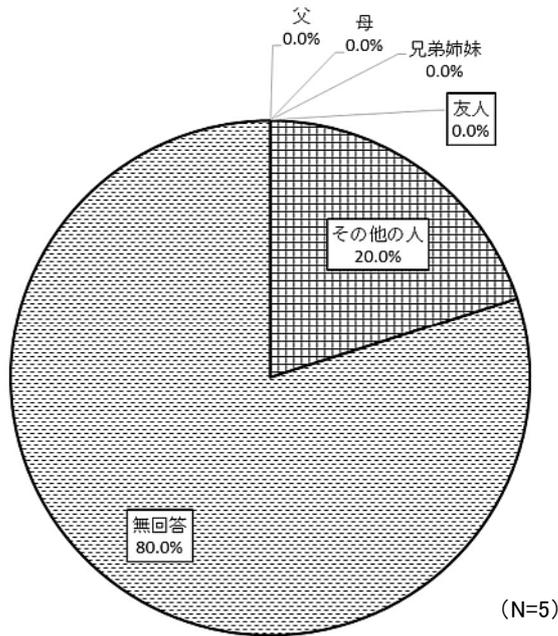
(10) あまり外出しなくなったきっかけ (問 8-2) 【複数回答】

(8)で(e)(f)(g)(h)と回答した人に、あまり外出しなくなったきっかけを尋ねたところ、「その他」が62.8%で最も高く、次いで「病気」14.0%、「人間関係の不信〔友人・父・母・兄弟姉妹・その他の人〕」11.6%となっている。



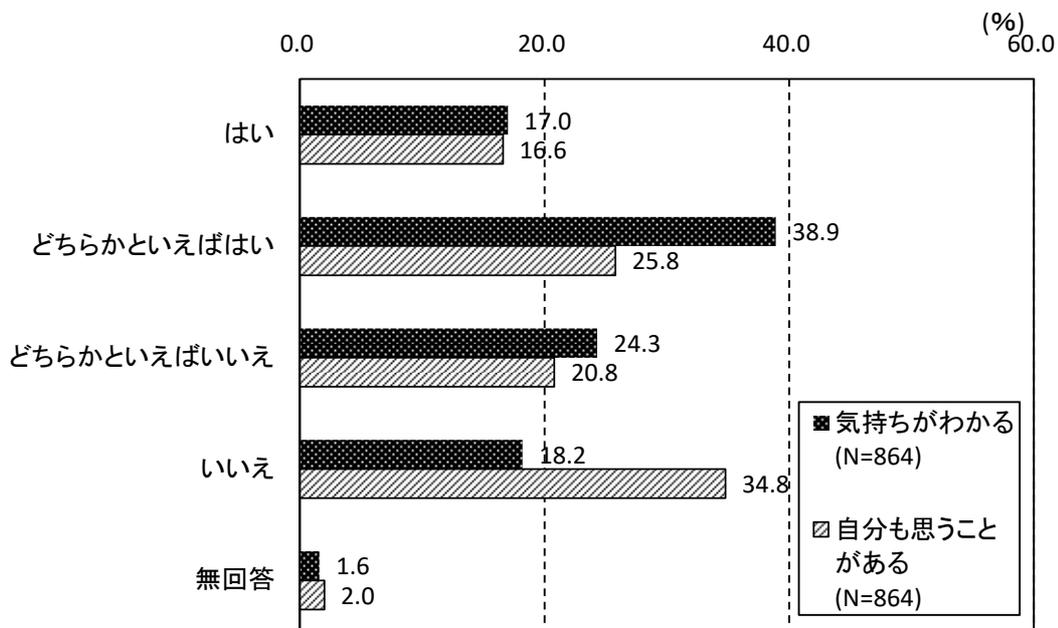
(11) 人間関係の不信になったきっかけの人 (問 8-2) 【複数回答】

人間関係の不信になったきっかけの人は、無回答を除くと、「その他の人」という結果になっている。



(12) 引きこもりに対する気持ち (問 9)

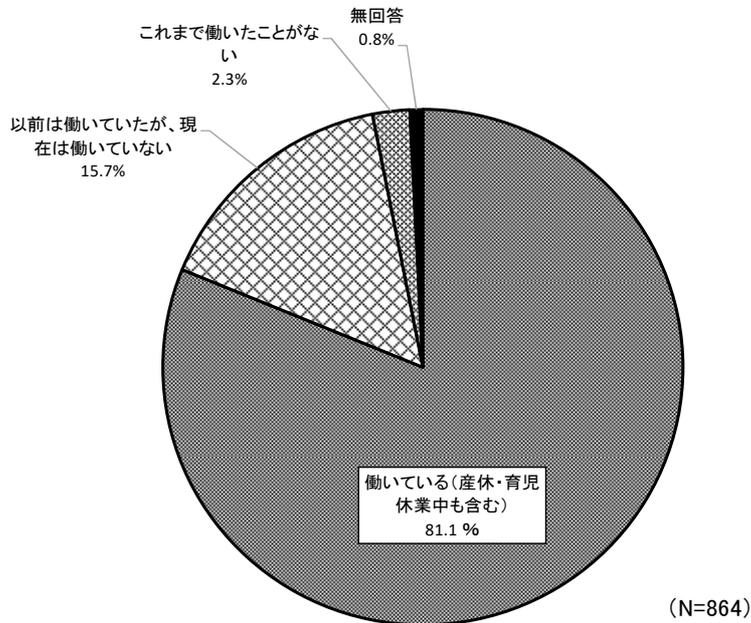
引きこもりに対する気持ちを尋ねたところ、「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた比率が、「気持ちがわかる」は5割、「自分も思うことがある」は4割を超えている。



3. 就労状況について

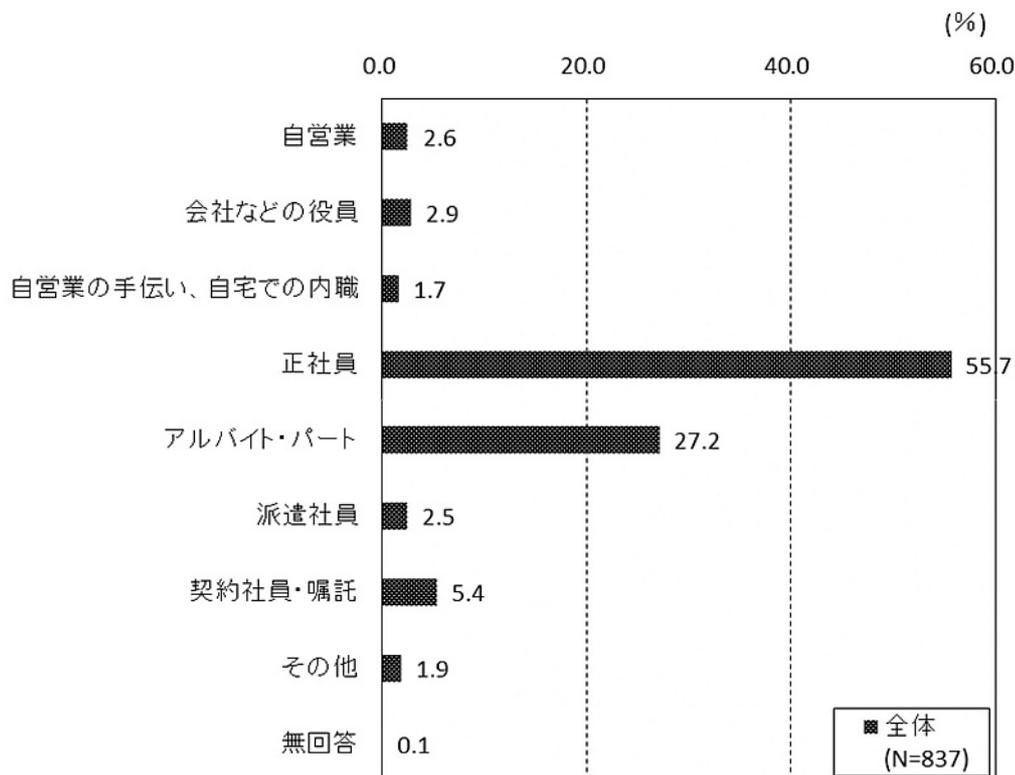
(13) 現在の就労状況 (問 10)

現在の就労状況は、「働いている（産休・育児休業中も含む）」が81.1%で最も高く、次いで「以前は働いていたが、現在は働いていない」15.7%、「これまで働いたことがない」2.3%となっている。



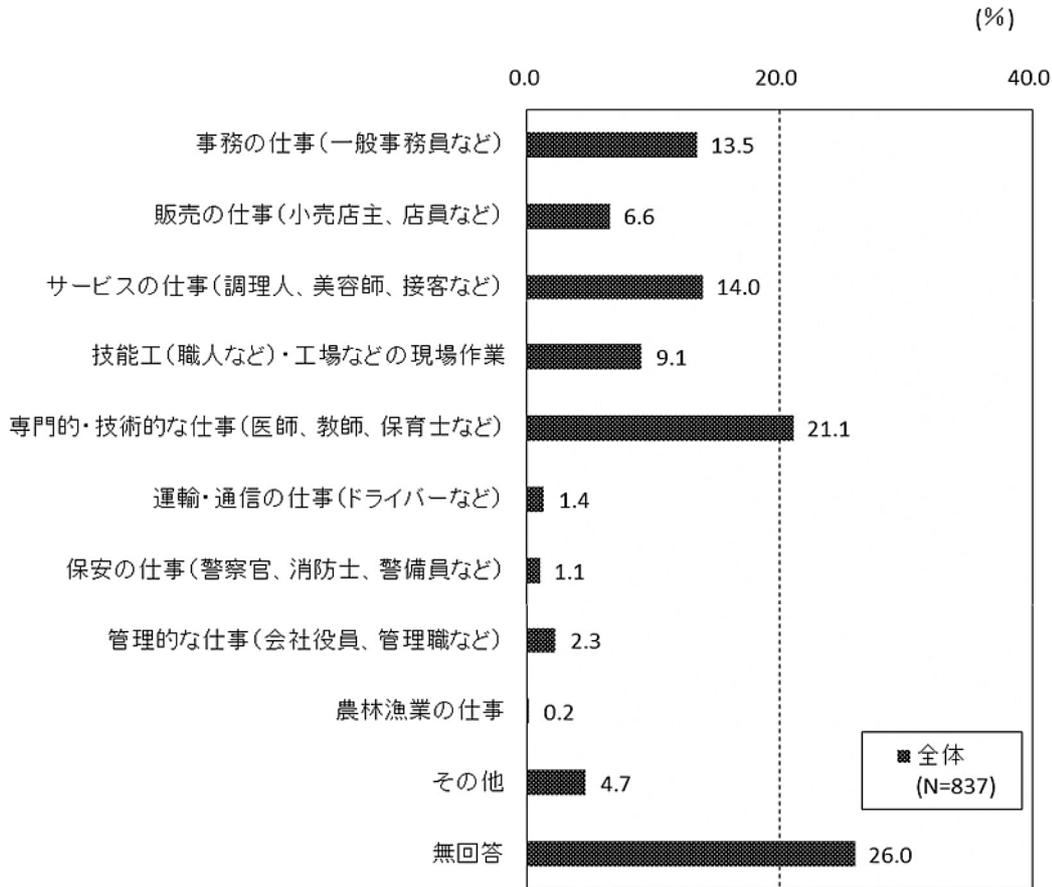
(14) 就労形態 (問 10-1)

就労形態は、「正社員」が55.7%で最も高く、次いで「アルバイト・パート」27.2%、「契約社員・嘱託」5.4%となっている。



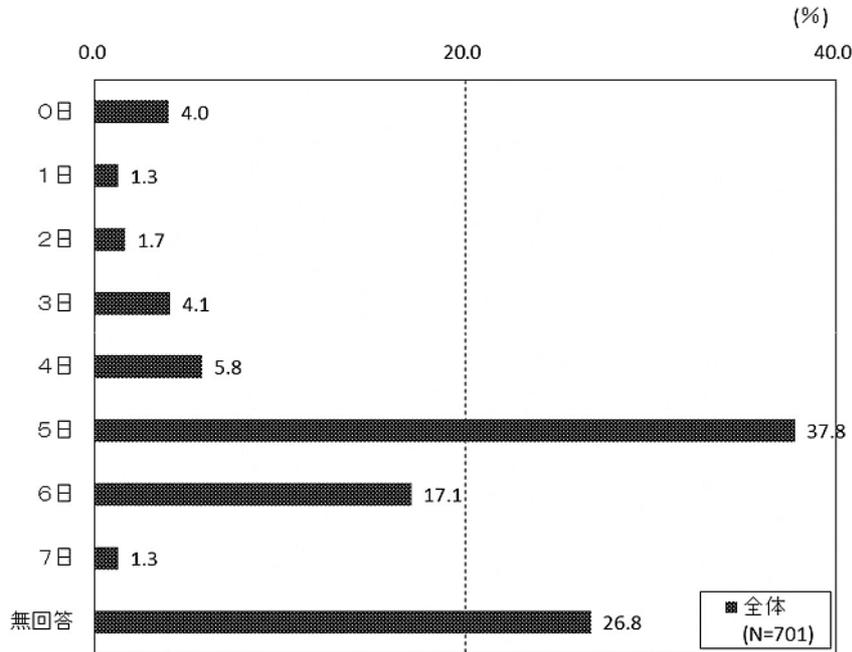
(15) 就労先での職種 (問 10-2)

就労先での職種は、「専門的・技術的な仕事 (医師、教師、保育士など)」が 21.1% で最も高く、次いで「サービスの仕事 (調理人、美容師、接客など)」14.0%、「事務の仕事 (一般事務員など)」13.5% となっている。



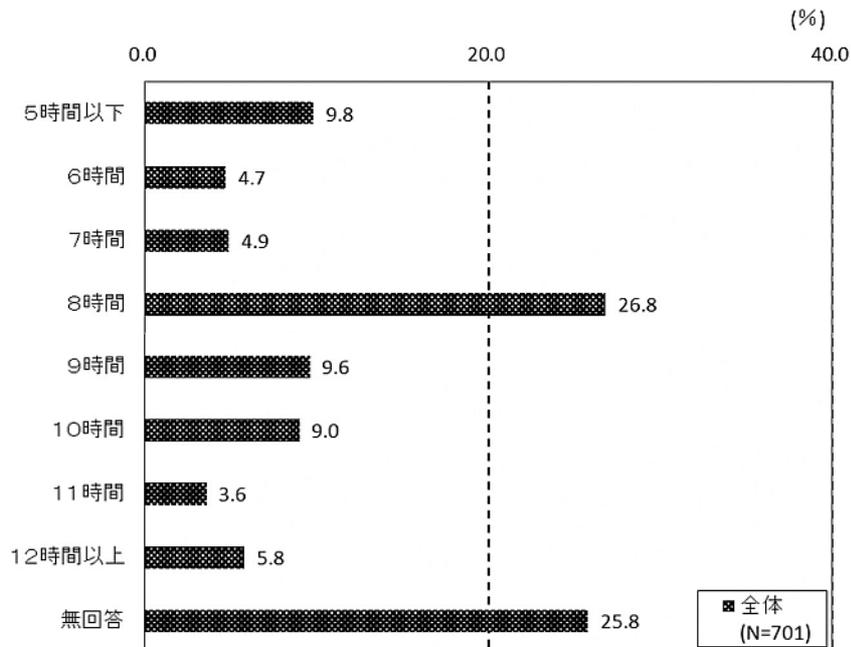
(16) 1週間あたりの就労日数 (問 10-3)

1週間あたりの就労日数は、「5日」が37.8%で最も高く、次いで「6日」17.1%、「4日」5.8%となっている。



(17) 1日当たりの就労時間 (残業時間を含む) (問 10-4)

1日当たりの就労時間 (残業時間を含む) は、「8時間」が26.8%で最も高く、次いで「5時間以下」9.8%、「9時間」9.6%となっている。

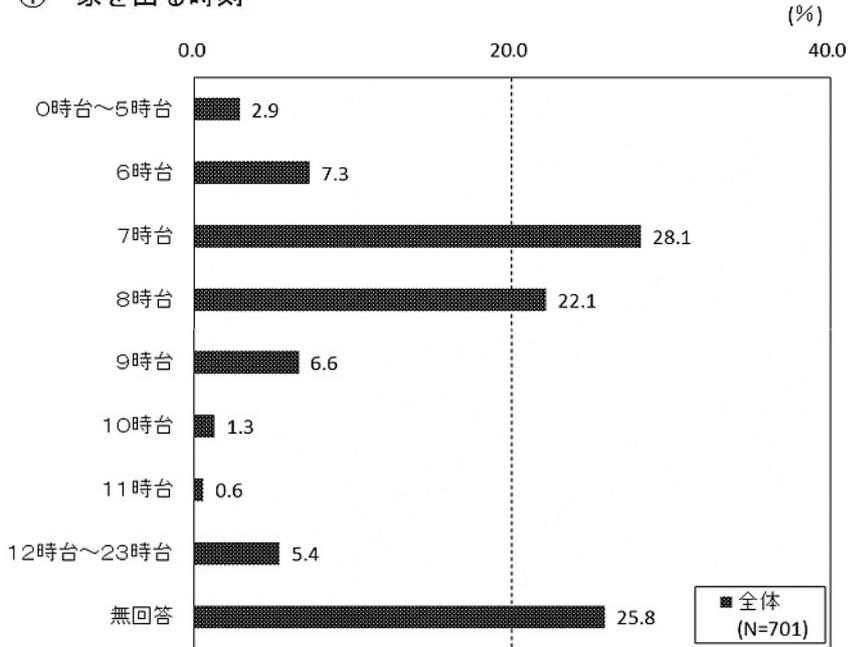


(18) 家を出る時刻と帰宅時刻 (問 10-4)

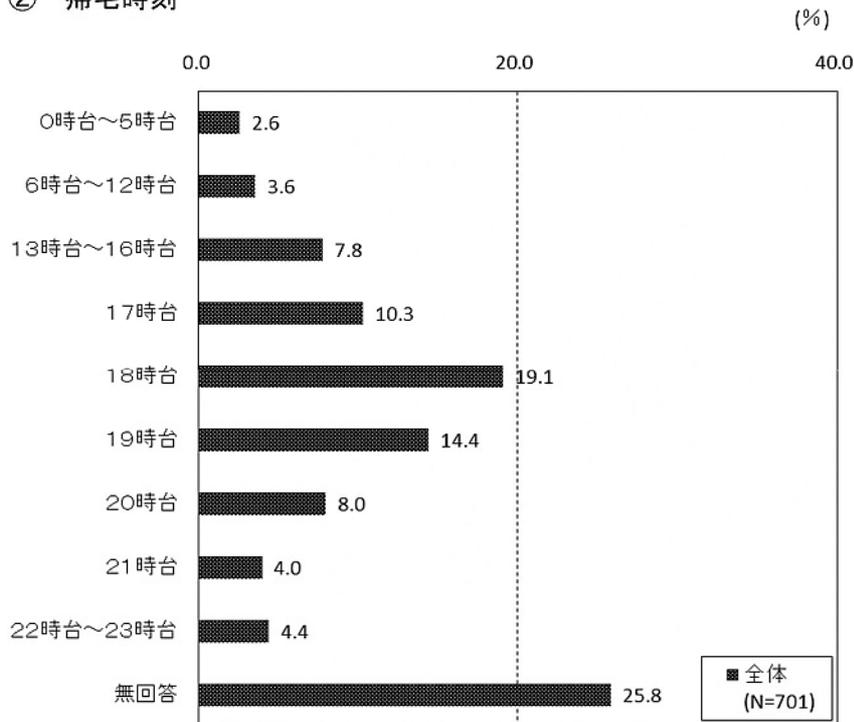
家を出る時間は、「7時台」が28.1%で最も高く、次いで「8時台」22.1%、「6時台」7.3%となっている。

帰宅時間は、「18時台」が19.1%で最も高く、次いで「19時台」14.4%、「17時台」10.3%となっている。

① 家を出る時刻



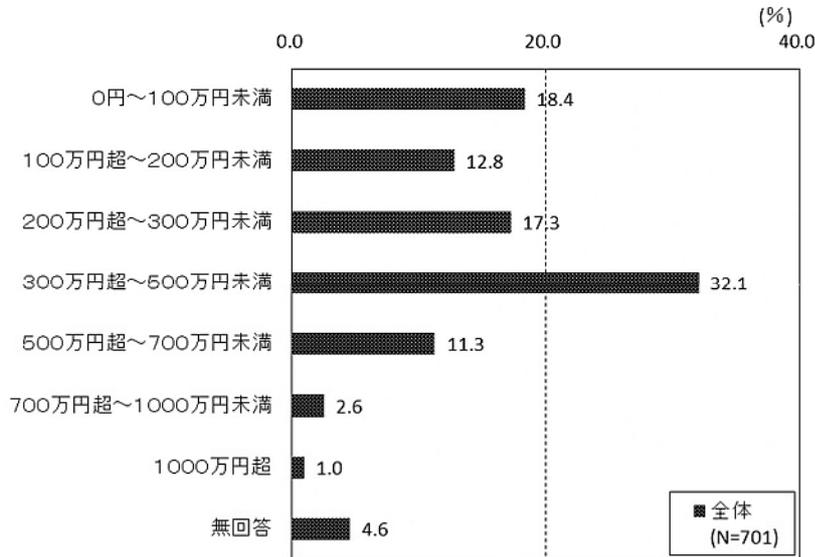
② 帰宅時刻



(19) 年収 (問 11)

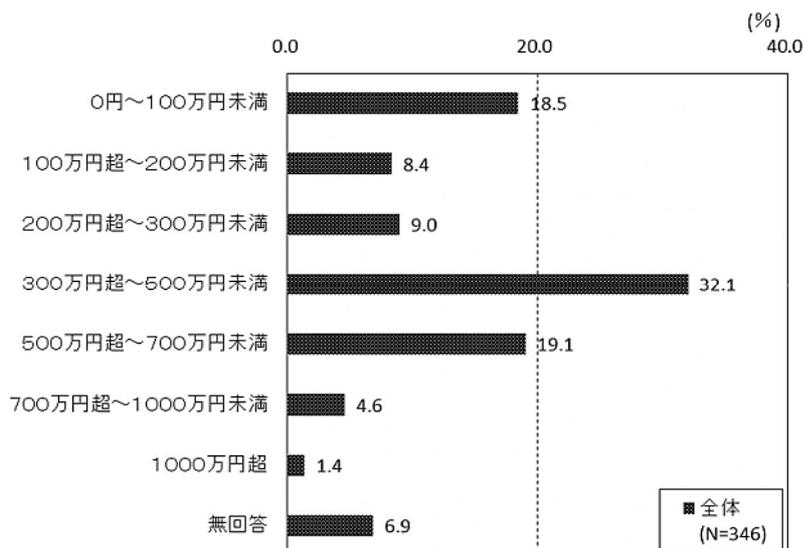
① 回答者の年収

回答者の年収は、「300万円超～500万円未満」が32.1%で最も高く、次いで「0円～100万円未満」18.4%、「200万円超～300万円未満」17.3%となっている。



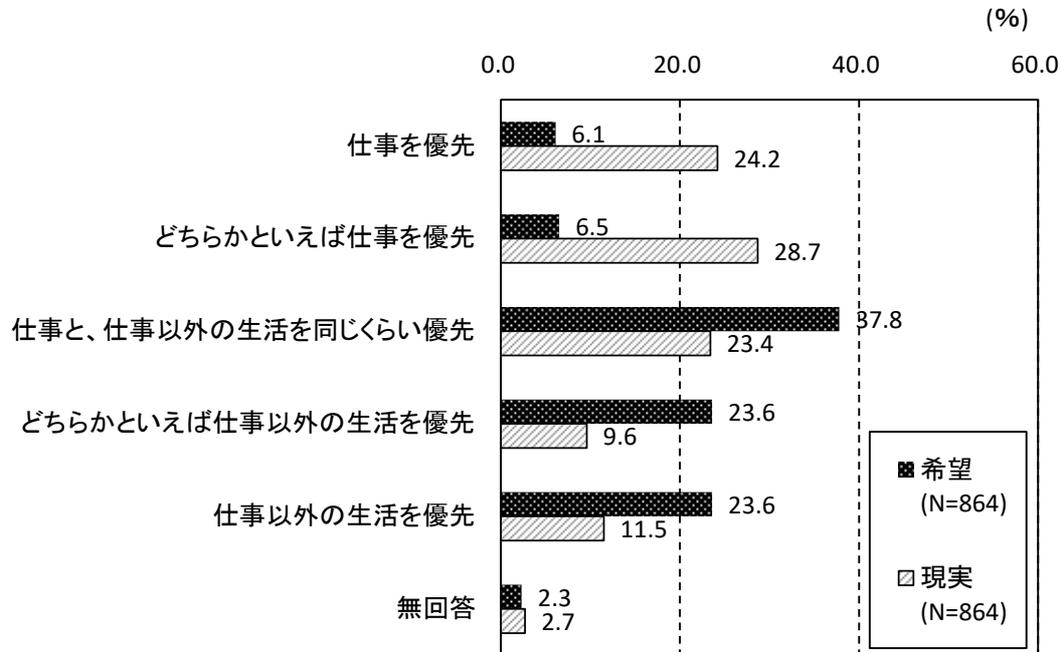
② 配偶者・パートナーの年収

配偶者・パートナーの年収は、「300万円超～500万円未満」が32.1%で最も高く、次いで「500万円超～700万円未満」19.1%、「0円～100万円未満」18.5%となっている。



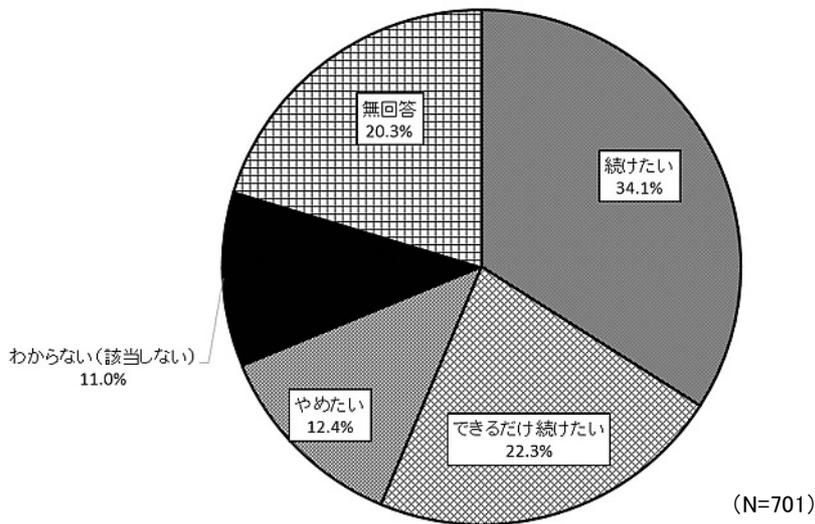
(20) 仕事と仕事以外の生活（家事・育児、趣味やボランティア活動など）の優先度（問12）

仕事と仕事以外の生活の優先度について尋ねたところ、希望は「仕事と、仕事以外の生活を同じくらい優先」が37.8%で最も高く、次いで「どちらかといえば仕事を優先」、「仕事以外の生活を優先」が同率23.6%となっている。現実には「どちらかといえば仕事を優先」が28.7%で最も高く、次いで「仕事を優先」24.2%、「仕事と、仕事以外の生活を同じくらい優先」23.4%となっている。



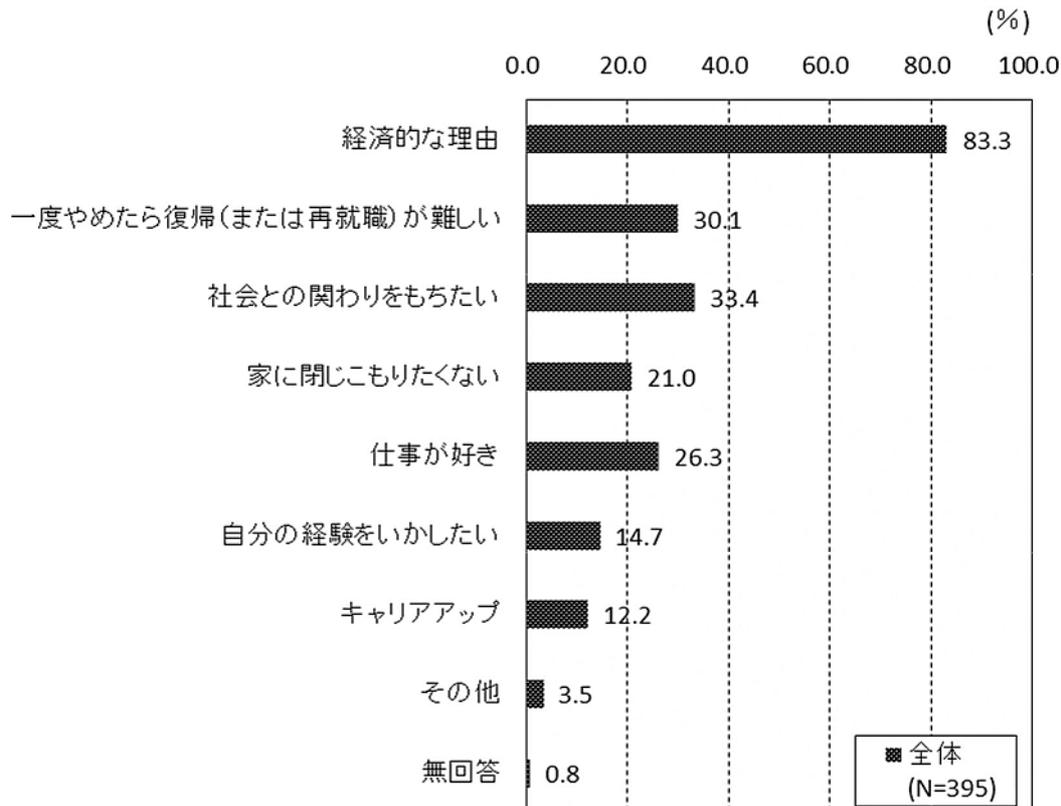
(21) 子どもができた(増えた)場合の就労意向(問13)

(13)で「働いている」と回答した人に、子どもができた(増えた)場合の就労意向を尋ねたところ、子どもが出来た場合の就労意向は、「続けたい」が34.1%で最も高く、次いで「できるだけ続けたい」22.3%、「やめたい」12.4%となっている。



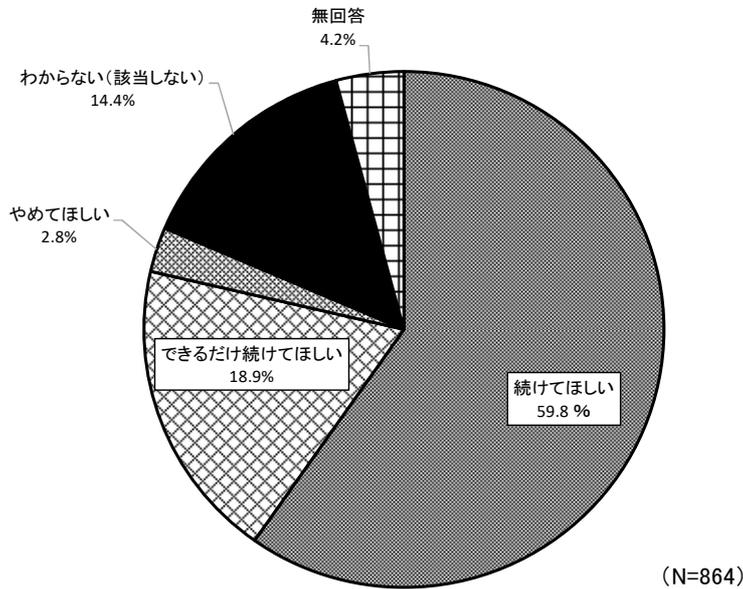
(22) 子育てをしながら仕事を続けたい理由(問13-1)【複数回答】

(21)で「続けたい」または「できるだけ続けたい」を回答した人に、その理由を尋ねたところ、「経済的な理由」が83.3%で最も高く、次いで「社会とのかかわりをもちたい」33.4%、「一度やめたら復帰(または再就職)が難しい」30.1%となっている。



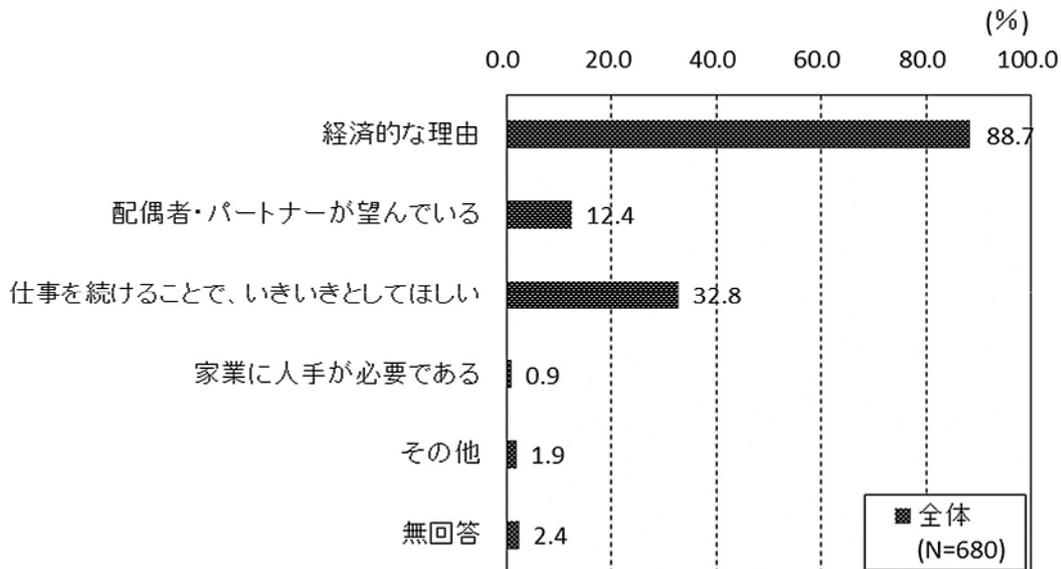
(23) 子どもができた(増えた)場合の配偶者への就労希望(問14)

子どもができた(増えた)場合の配偶者への就労希望は「続けて欲しい」が59.8%で最も高く、次いで「できるだけ続けて欲しい」18.9%、「わからない(該当しない)」14.4%となっている。



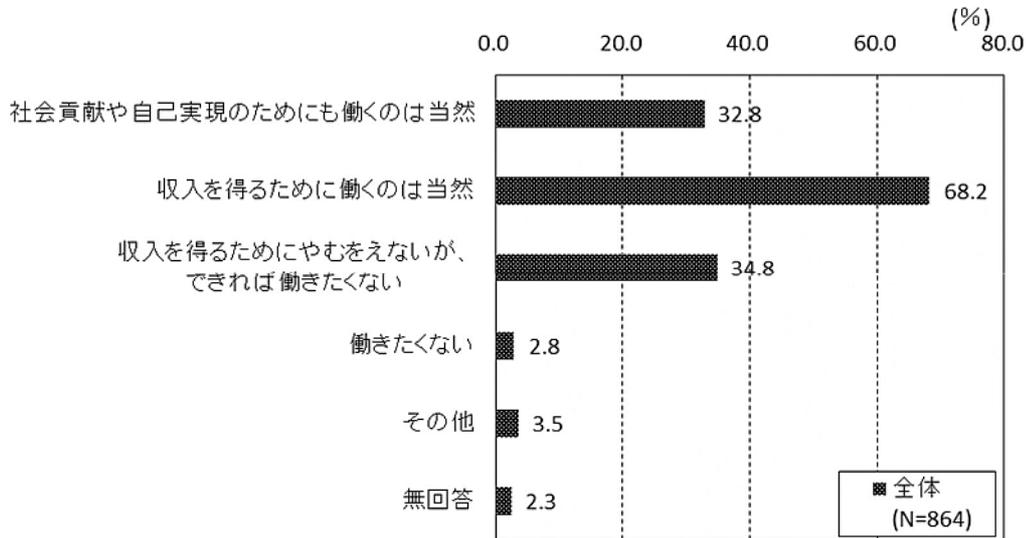
(24) 子育てしながら配偶者に仕事を続けてほしい理由(問14-1)【複数回答】

(23)で「続けてほしい」または「できるだけ続けてほしい」を回答した人に、仕事を続けてもらいたい理由を尋ねたところ、「経済的な理由」が88.7%で最も高く、次いで「仕事を続けることで、いきいきとしてほしい」32.8%、「配偶者・パートナーが望んでいる」12.4%となっている。



(25) 働くことに対する考え (問 15) 【複数回答】

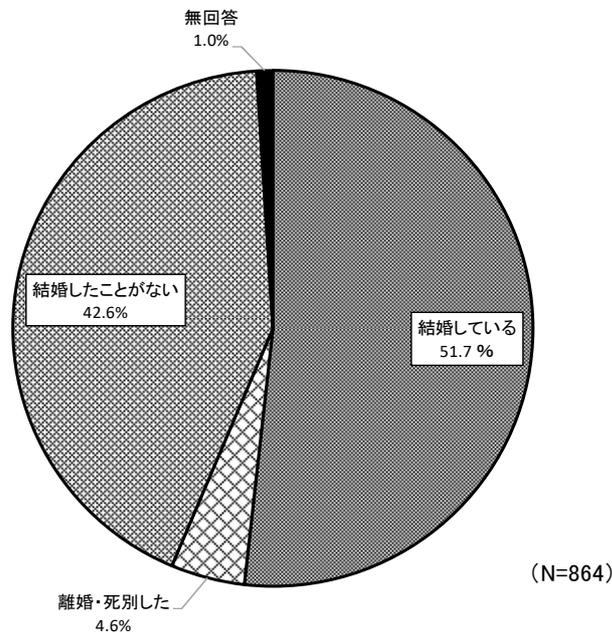
働くことに対する考えを尋ねたところ、「収入を得るために働くのは当然」が68.2%で最も高く、次いで「収入を得るためにやむをえないが、できれば働きたくない」34.8%、「社会貢献や自己実現のためにも働くのは当然」32.8%となっている。



4. 結婚や家庭のことについて

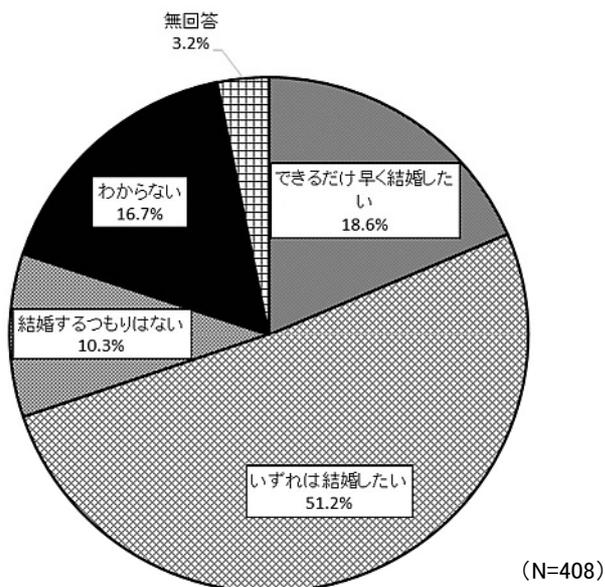
(26) 結婚の状況 (問 16)

現在、結婚（事実婚を含む）しているか尋ねたところ、「結婚している」が51.7%で最も高く、次いで「結婚したことがない」42.6%、「離婚・死別した」4.6%となっている。



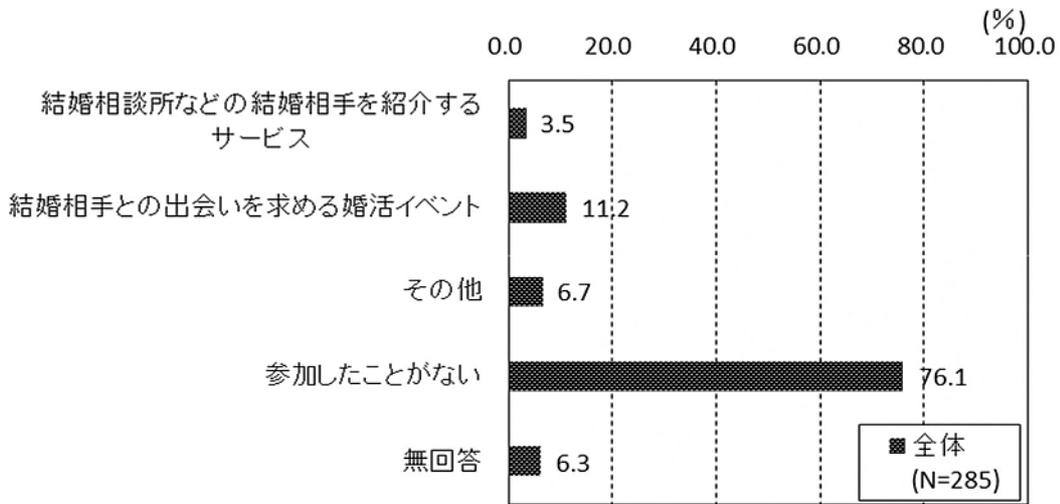
(27) 結婚に対する考え (問 16-1)

(26)で「離婚・死別した」または「結婚したことがない」と回答した人に結婚観を尋ねたところ、「いずれは結婚したい」が51.2%で最も高く、次いで「できるだけ早く結婚したい」18.6%、「わからない」16.7%となっている。



(28) 婚活への参加状況 (問 16-2) 【複数回答】

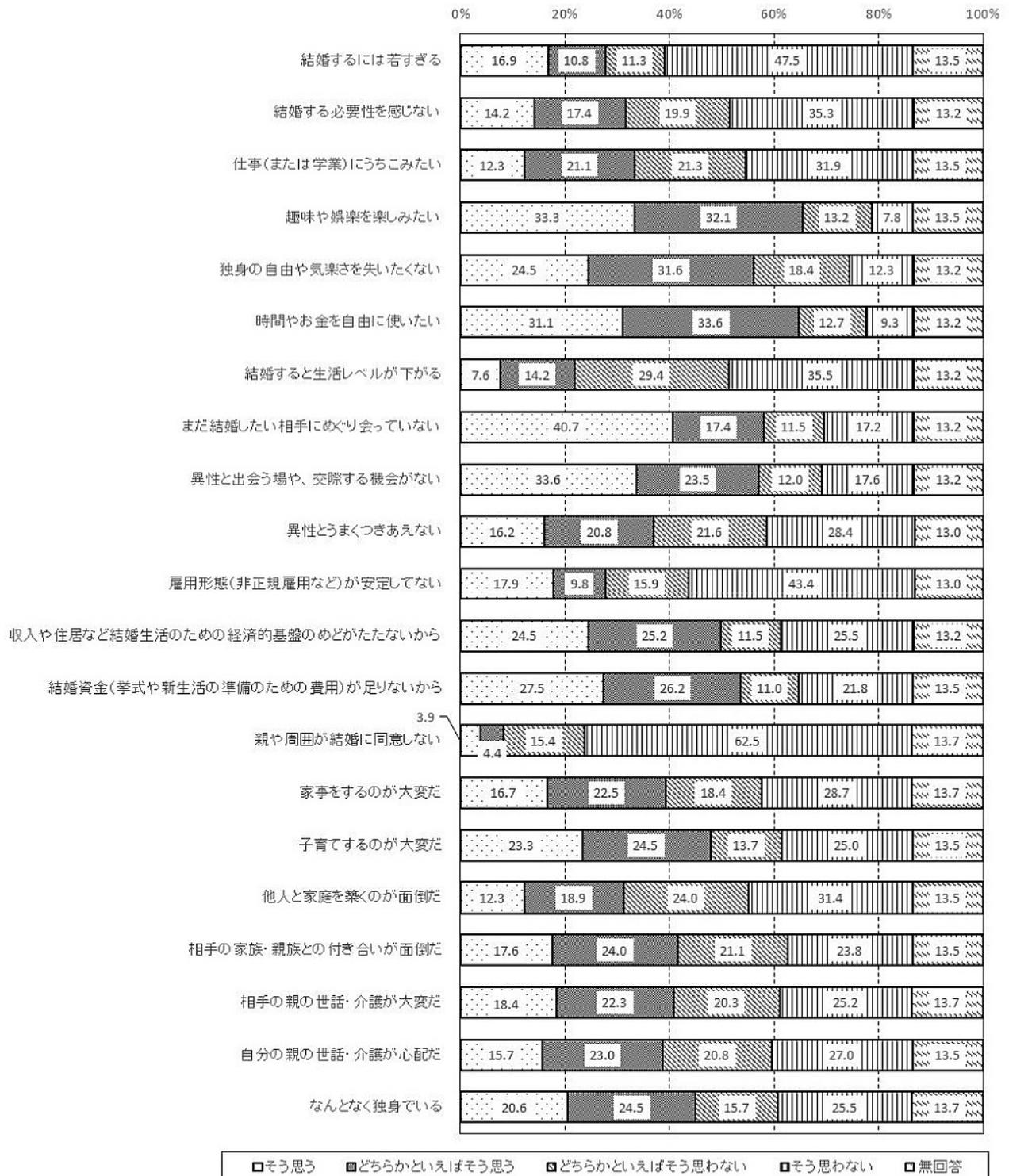
(27) で「いずれは結婚したい」または「できるだけ早く結婚したい」と回答した人に結婚に向けての活動への参加について尋ねたところ、「参加したことがない」が76.1%で最も高く、次いで「婚活相手との出会いを求める婚活イベント」11.2%、「その他」6.7%となっている。



(29) 独身でいる理由 (問 16-3)

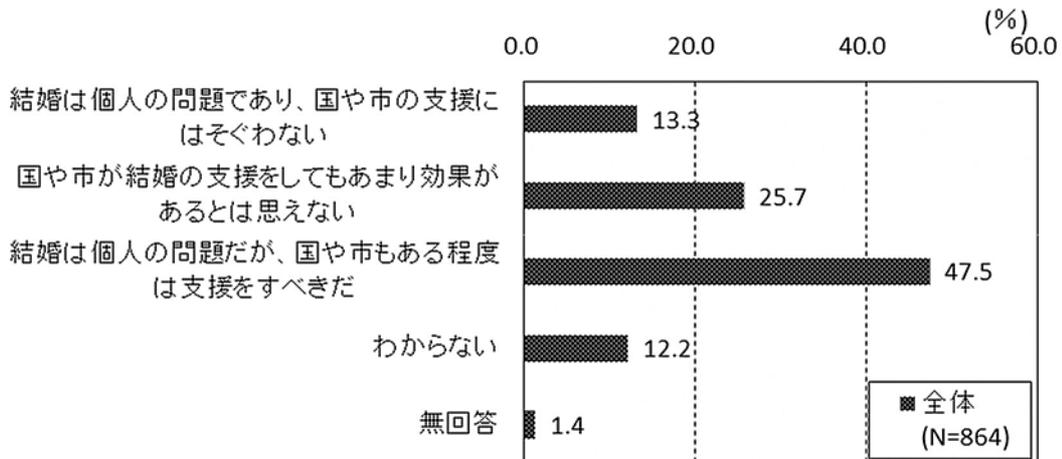
(26) で「離婚・死別した」または「結婚したことがない」と回答した人に独身でいる理由を尋ねたところ、「そう思う」では「まだ結婚したい相手にめぐり会っていない」が40.7%で最も高く、次いで「異性と出会う場や、交際する機会がない」33.6%となっている。

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた比率では、「趣味や娯楽を楽しみたい」が65.4%で最も高く、次いで「時間やお金を自由に使いたい」64.7%、「まだ結婚したい相手にめぐり会っていない」58.1%となっている。



(30) 結婚に対する国や市の支援について (問17)

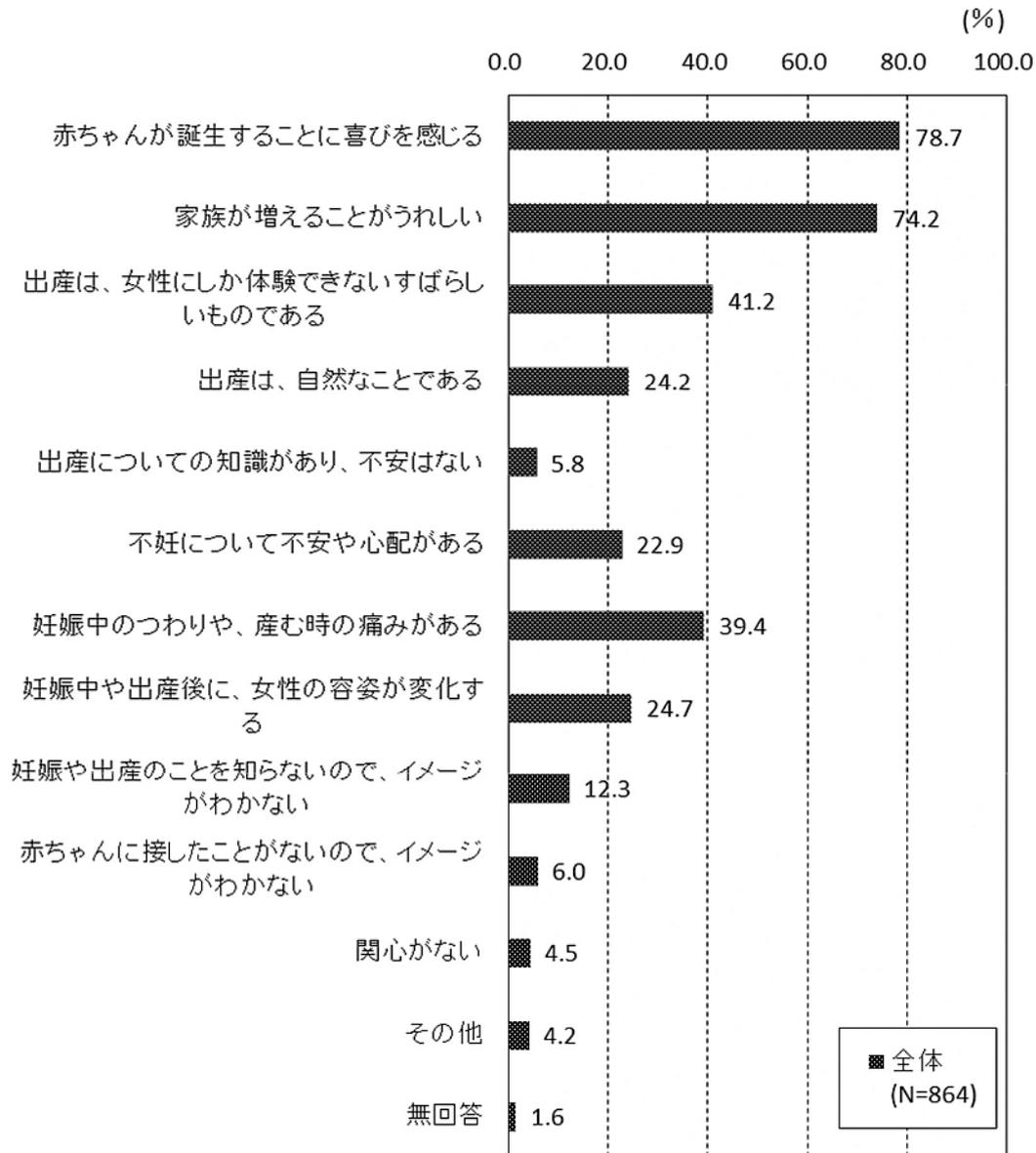
結婚に対する国や市の支援について尋ねたところ、「結婚は個人の問題だが、国や市もある程度支援をすべきだ」が47.5%で最も高く、次いで「国や市が結婚の支援をしてもあまり効果があるとは思えない」25.7%、「結婚は個人の問題であり、国や市の支援にそぐわない」13.3%となっている。



5. 出産や子育てについて

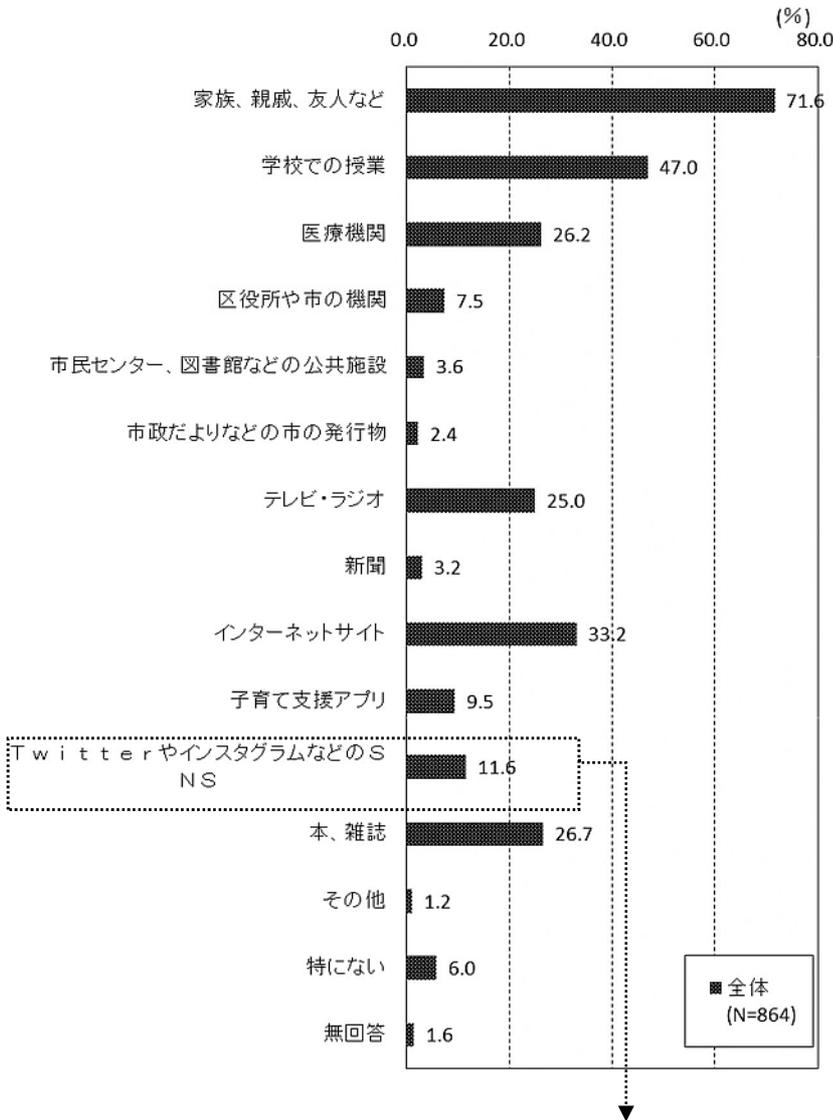
(31) 出産に対する考え (問18) 【複数回答】

出産に対する考えについて尋ねたところ、「赤ちゃんが誕生することに喜びを感じる」が78.7%で最も高く、次いで「家族が増えることがうれしい」74.2%、「出産は、女性にしか体験できない素晴らしいものである」41.2%となっている。

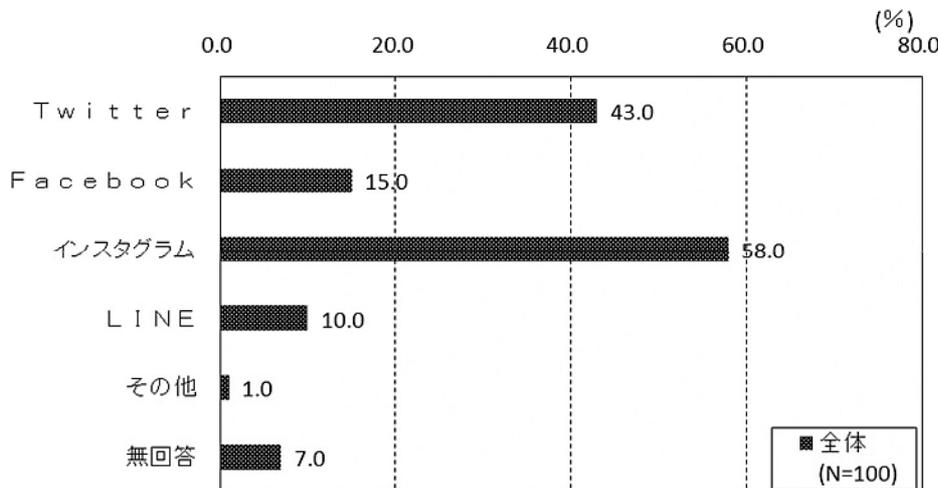


(32) 妊娠や出産に関する知識の入手先 (問19) 【複数回答】

妊娠や出産に関する知識の入手先は、「家族、親せき、友人など」が71.6%で最も高く、次いで「学校での授業」47.0%、「インターネットサイト」33.2%となっている。

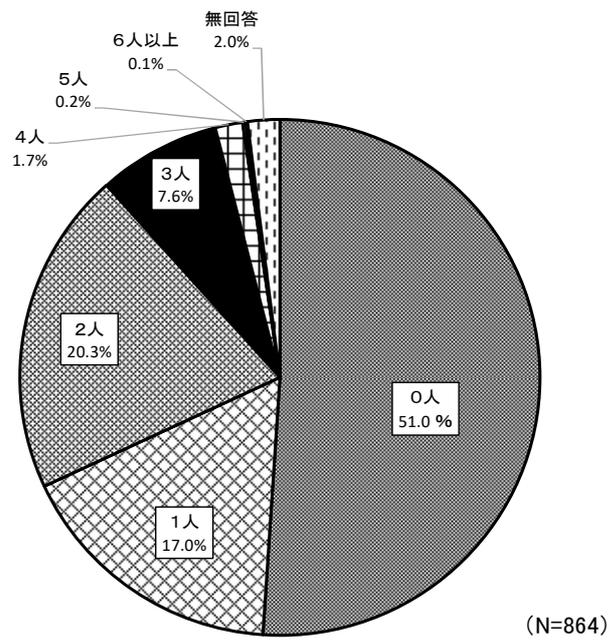


SNSでの具体的な情報入手手段は、「Instagram」が58.0%で最も高く、次いで「Twitter」43.0%、「Facebook」15.0%となっている。



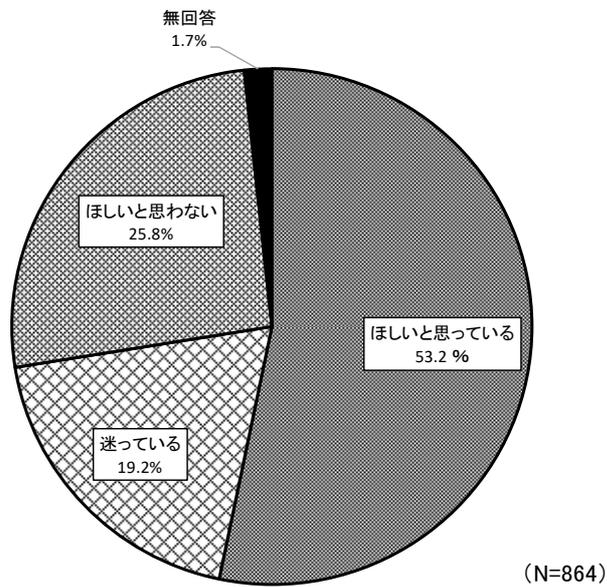
(33) 子どもの人数 (問20)

子どもの人数は、「0人」が51.0%で最も高く、次いで「2人」20.3%、「1人」17.0%となっている。



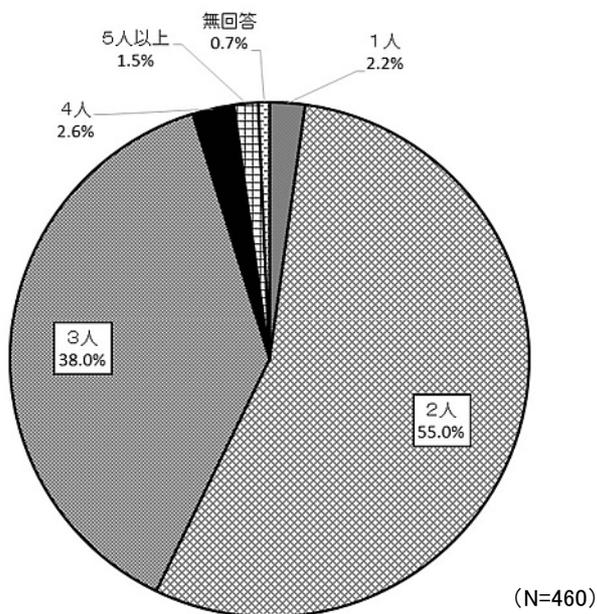
(34) 今後子どもをほしいと思うか (問21)

今後子どもをほしいと思うか尋ねたところ、「ほしいと思っている」が53.2%で最も高く、次いで「ほしいと思わない」25.8%、「迷っている」19.2%となっている。



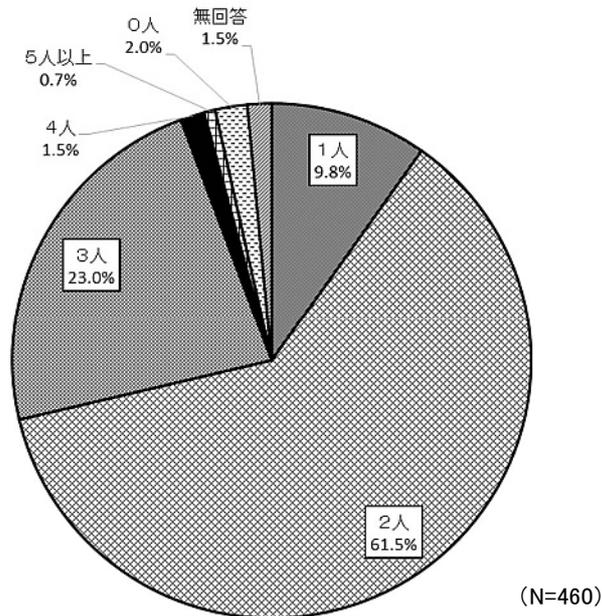
(35) 理想的な子どもの人数 (問21-1)

理想的な子どもの人数は、「2人」が55.0%で最も高く、次いで「3人」38.0%、「4人」2.6%となっている。



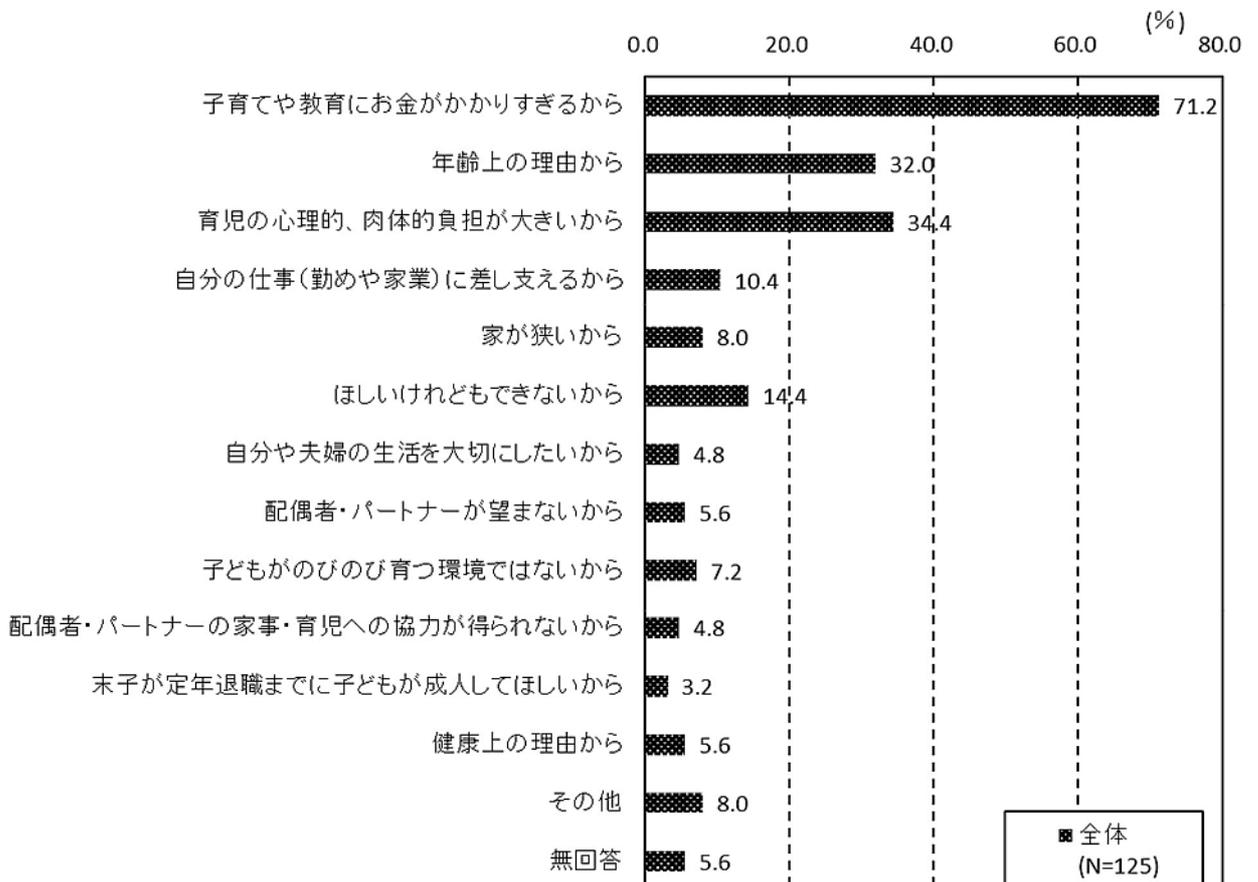
(36) 実際に持とうと考えている子どもの人数 (問 21-2)

実際に持とうと考えている子どもの人数は、「2人」が61.5%で最も高く、次いで「3人」23.0%、「1人」9.8%となっている。



(37) 子どもの人数の理想と現実が違う理由 (問 21-3) 【複数回答】

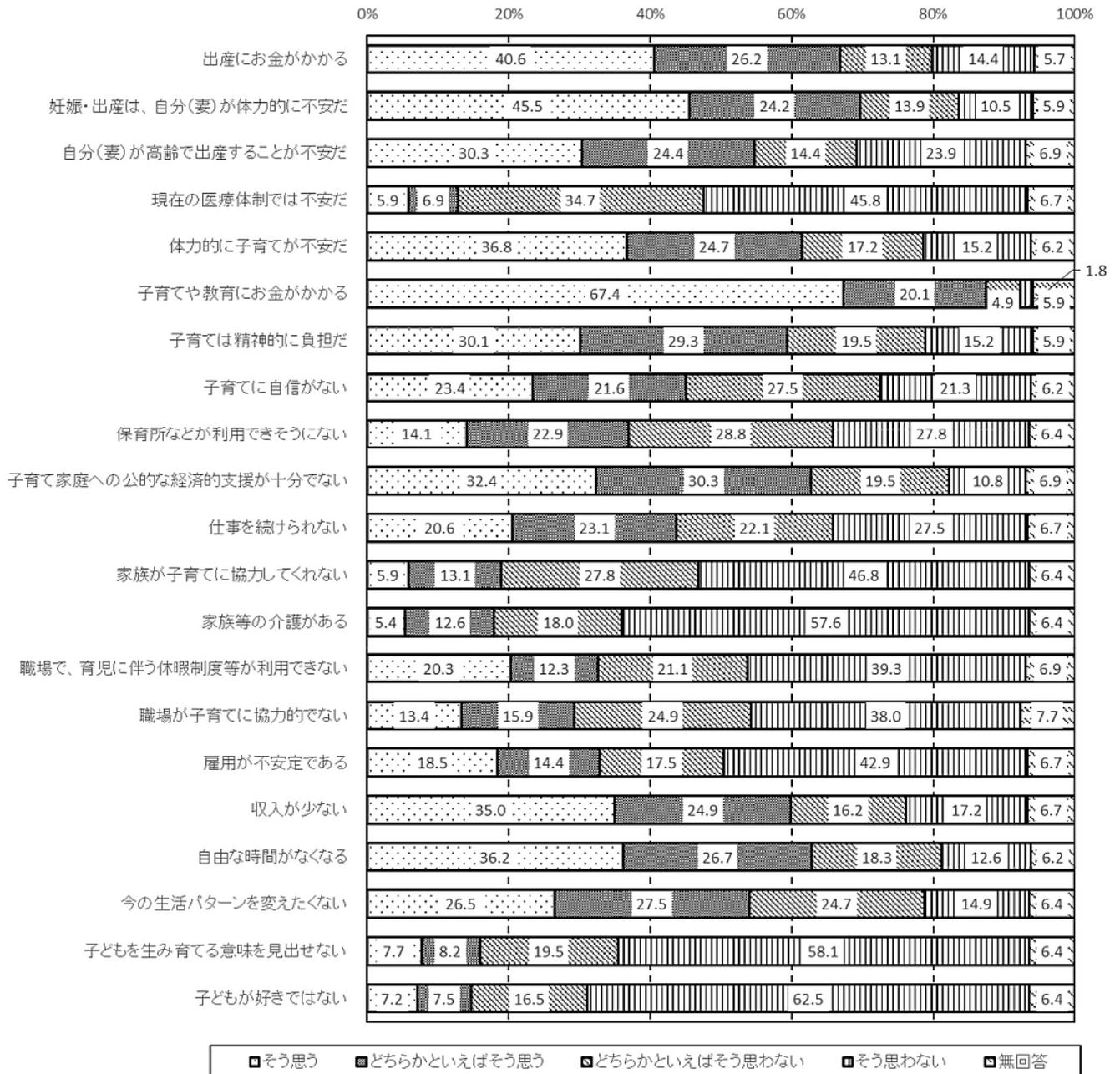
(35) (36) で理想的な子どもの人数より、実際に持とうと考えている子どもの人数を少なく回答した人にその理由を尋ねたところ、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が71.2%で最も高く、次いで「育児の心理的、肉体的負担が大きいから」34.4%、「年齢上の理由から」32.0%となっている。



(38) 子どもを欲しいと思わない理由 (問 21-4)

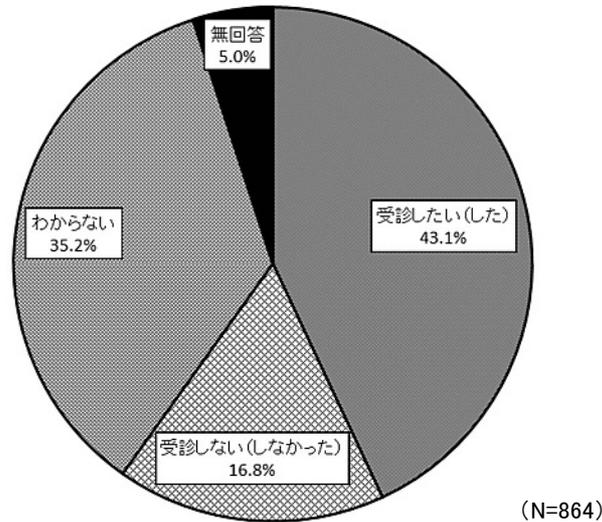
(34) で子どもをほしかで「迷っている」または「ほしいと思わない」と回答した人にその理由を尋ねたところ、「そう思う」では「子育てや教育にお金がかかる」が67.4%で最も高く、次いで「妊娠・出産は、自分(妻)が体力的に不安だ」45.5%、「出産にお金がかかる」が40.6%となっている。

「そう思う」と「どちらかというと思わない」を合わせた比率では、「子育てや教育にお金がかかる」が87.5%で最も高く、「妊娠・出産は、自分(妻)が体力的に不安だ」69.7%、「出産にお金がかかる」66.8%となっている。



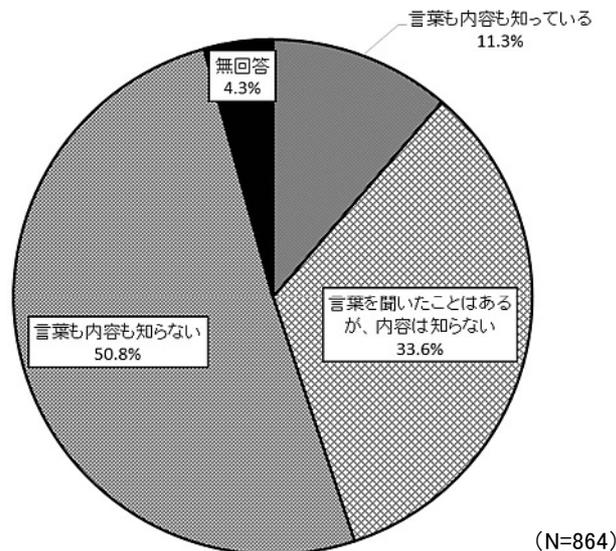
(39) 不妊治療の受診意向 (問 22)

不妊治療の受診意向は、「受診したい(した)」が 43.1%で最も高く、次いで「わからない」35.2%、「受診しない(しなかった)」16.8%となっている。



(40) 「特定不妊治療」費用の助成制度の認知度 (問 23)

「特定不妊治療」費用の助成制度の認知度は、「言葉も内容も知らない」が 50.8%で最も高く、次いで「言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない」33.6%、「言葉も内容も知っている」11.3%となっている。

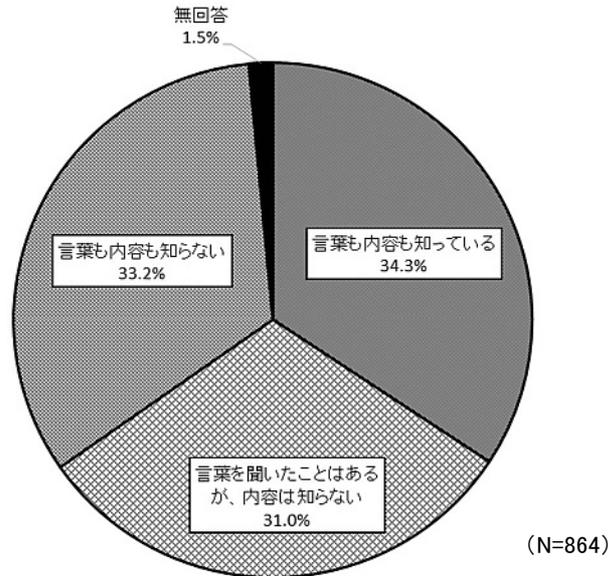


6. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）

（4 1）仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の認知度（問 24）

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の認知度について尋ねたところ、「言葉も内容も知っている」と「言葉を聞いたことはあるが、内容は知らない」を合わせた比率は、65.3%と6割を超えている。

一方、「言葉も内容も知らない」は33.2%となっている。



（4 2）仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の状況（問 25）

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の状況について尋ねたところ、「調和がとれている」と「どちらかという調和がとれている」を合わせた比率は、35.3%となっている。

これに対して、「どちらかという調和がとれていない」と「調和がとれていない」を合わせた比率は44.8%となっている。

